

全日本シニア軟式野球連盟のあゆみ

平成8年(1996年)6月「倉敷市体育協会野球部倉敷地区有志により連盟結成準備委員会を設立しました。そして、平成9年(1997年)6月に「岡山県シニア軟式野球連盟」を、県内チーム代表の方々と共に結成しました。連盟の目的は「生涯スポーツとして軟式野球を通じ、シニア相互の親睦を図ると共に、シニア軟式野球の健全な発展と向上をめざし、明るく爽やかに健康を維持して、軟式野球の発展に寄与する」ことです。

平成9年(1997年)10月に「第1回岡山県シニア軟式野球選手権大会」を、玉島の森野球場をメイン会場に3会場で12チームの参加とダイワマルエス㈱の協賛で開催しました。そして、岡山県シニア軟式野球連盟の主催により、朝日新聞岡山総局・山陽新聞社の後援とナガセケンコー(株)・ダイワマルエス㈱の協賛で「岡山県大会を開催」してまいりました。

軟式野球の全国大会は、学童大会(小学生)、中学生大会・少年大会(中学生)、高等学校大会(全日制および定通制)、社会人大会(国民体育大会・天皇賜杯などその他多数)、日本スポーツマスターズ大会(40歳以上)、還暦大会(60歳以上)、古希大会(70歳以上)と各年代別で開催されておりますが、残念ながら平成12年(2000年)まで50歳代の全国規模の大会は開催されておりました。私達の夢は、倉敷・マスカットスタジアムをメイン会場に全国規模の「全日本シニア軟式野球選手権大会を開催」することでした。高校球児達が「甲子園」をめざすように、シニア軟式野球愛好家達は「シニアの甲子園、倉敷・マスカットスタジアムをめざす！」との夢を実現させるために、平成11年(1999年)8月に岡山県シニア軟式野球連盟を核とした「全日本シニア軟式野球連盟の設立」と21世紀の「2001年に全日本シニア軟式野球選手権大会を開催する」ことを決定しました。

21世紀が開幕した平成13年(2001年)10月「第1回全日本シニア軟式野球選手権大会」が軟式野球に携わる上部団体の(公財)全日本軟式野球連盟・岡山県軟式野球連盟の関係者のご指導ご支援をはじめ、行政関係・各種報道・マスメディアの関係者、ご指導ご支援をいただく大勢の皆様方のお力で開催することができました。

平成30年(2018年)公益財団法人全日本軟式野球連盟主催の「第1回全日本シニア軟式野球大会」が、シニア野球有縁の地、岡山県倉敷市のマスカットスタジアムをメイン会場に開催されました。シニア軟式野球は、全国の愛好家たちの熱き情熱で、ますますの拡大が期待されます。

公益財団法人全日本軟式野球連盟の開催する大会は全国各地に毎年会場を移します。私たちは、今後も岡山県倉敷市にメイン会場を置いた「シニアの甲子園」を継続してまいります。

一昨年、当連盟も一般社団法人全日本シニア軟式野球連盟と法人化しました。引き続き全日本シニア軟式野球選手権大会と西日本シニア軟式野球選手権大会を継続して開催し続けてまいります。

どうかシニア軟式野球にご理解を賜り、ご指導と暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

会 長 三鍋 英治
事務局長 福田 浩明